



感動の体育大会

5月18日（日）に第10回体育大会が開催されました。天候が心配されましたが、生徒の皆さんの思いが前日までの雨を吹き飛ばしてくれ、当日は無事に全ての種目を実施することができました。

生徒自らが創り上げる体育大会をめざして、準備段階から3年生を中心に団の応援練習や各役員等の打合せを行ってきました。なかなか上手いかず、悩む生徒もいたようです。しかし、その経験こそが自己の成長につながるといわれています。

体育大会を終えた生徒たちの姿からは、勝敗よりも「何かをやり遂げたすがすがしさ」を感じることができました。

体育大会後の生徒の感想では、「来年は先生たちに頼らず、自分たちの力でさらに体育大会を盛り上げたい」と頼もしい声も聞かれました。また、3年生の姿に憧れた1.2年生が多かったようで、来年の団長や副団長を希望する生徒が多いようです。

56名の生徒の皆さんに感謝します———

感動をありがとう！



平和に関する学習

5月27日（火）に全校生徒を対象に「平和に関する学習」を行いました。講師として常磐泰代氏（かたりべぐるーぶ南の風）をお招きして、戦争の悲惨さとおして平和の大切さを学ばせていただきました。五ヶ瀬町の遺族会の方もご来校いただき、貴重なお話をいただきました。ありがとうございました。

今を生きる私たちがすべきことは、戦争の不在はもちろん、全ての人を尊重し、理解し合いながら助け合う社会を築いていくことではないでしょうか。「平和」を守り続けていきたいものですね。

「挨拶」の大切さ



なぜ、挨拶をするのでしょうか。挨拶は、人間関係を良好にする上でも大切なものです。挨拶を交わすだけで相手の温かさを感じます。そして、相手の存在を認識することで信頼を深めることもできます。

学校だけではなく、進んで地域の方たちにも挨拶をしてみてください。きっと、あなたの優しさが伝わり、「ニコッ」と笑顔を見せてくれると思います。皆さんの挨拶で、五ヶ瀬町を笑顔にしましょう！



体育大会後の集合写真

豊かな体験活動

体験活動の学びは、実際に体験することを通して、実践的な知識を学ぶだけではなく、個人の成長や社会への理解を深める大切なものです。体験活動とおして、「何を学んで、それを社会でどう生かすか」が語れる生徒が増えるといいですね。

伝統芸能教室

本年度も、五ヶ瀬町の伝統を継承していくために、本校では桑野内の「団七踊り」と、鞍岡の「棒術」、「長刀」を学んで10月の校内文化発表会で発表をします。5月23日（金）のオリエンテーションでは、それぞれの伝統芸能の由来や意味を生徒全員で確認をした後に、各指導者の方から動きを学びました。10月が楽しみです。



動きを学んでいる様子



【指導者】

- 棒術・なぎなた保存会
 - ・岡田正広さん
 - ・篠原作弘さん
- 団七踊り保存会
 - ・甲斐秀實さん

お茶摘み体験

5月29日（木）に、1.2年生がお茶摘みの体験活動を行いました。小笠園の小笠秀哉さんから説明をいただきながら、楽しくお茶摘みができたようです。このお茶は修学旅行のPR活動で販売予定です。



お茶摘み後の集合写真